



# UNIC Tokyo Dateline UN

January/February 2011 Vol.74

国際連合広報センター

## 2011年の国際年は？



2011・国際森林年

**国際森林年**は、世界中の森林と森林に依存する人々の直面する課題に対する社会の認識を高めると共に、森林の管理・保全・持続可能な開発において人間が果たしている役割を再確認する機会です。

また、森林の持つ多面的な価値を見つめる機会でもあります。人間に住居を提供し、生物多様性に生息環境を与え、食料や医薬品、きれいな空気と安全な水の源となり、気候と環境の安定を維持する。森林は極めて重要な役割を果たしているのです。

ニューヨークの国連本部では2月2日、国際森林年の開幕イベントが行われました。「Forests for People (人々のための森林)」を共通テーマにした取り組みは、日本では「森を歩く」を国内テーマに、林野庁を中心に今後展開していきます。

- 国連経済社会局 (DESA) 国連森林フォーラム (UNFF)  
[www.un.org/forests](http://www.un.org/forests) (英語)
- 2011 国際森林年情報発信プラットフォーム  
[www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/2011iyf.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/2011iyf.html)

**アフリカ系の人々のための国際年**は、アフリカ系の人々の利益のために各国の取り組みと地域・国際レベルの協力を強化することを目指します。具体的には、人々が社会における様々な権利を全面的に享受できるように取り組むと共に、その多様性に富んだ伝統と文化に対する知識と尊敬が促進されることを目的としています。

- 人権高等弁務官事務所 (OHCHR)  
[www.ohchr.org](http://www.ohchr.org) (英語)



2010年の国際青少年デー(8月12日)にスタートした**国際ユース年**は今年、さらに活発な活動を展開しています。国際ユース年の推進役に国連が任命した

「ユース・チャンピオン」の米国人女優、モニーク・コールマンさんは2月初旬、ワールド・ツアーに出発。日本には3月10-17日の訪問が予定されています。世界各地で若者と交流し、若者の直面する共通の課題に向き合います。国際ユース年とワールド・ツアーに関する詳細は本誌8ページの特集をご覧ください。

- 国連経済社会局 (DESA) 国連ユース・プログラム  
[social.un.org/youthyear](http://social.un.org/youthyear) (英語)



### International Year of CHEMISTRY 2011

国連は、キュリー夫人のノーベル化学賞受賞100年目にあたる今年を**世界化学年**としています。化学の功績と人類の福利への貢献を記念する国際年です。「Chemistry -- our life, our future」を統一テーマに、化学に対する社会の理解を促し、若い世代の化学への興味を喚起するとともに、未来を生み出す化学者への支援をめざしていきます。地方・地域・国レベルで人々が参加する機会が設けられます。

- 国連教育科学文化機関 (UNESCO)  
[www.chemistry2011.org](http://www.chemistry2011.org) (英語)
- 世界化学年日本委員会  
[www.iyc2011.jp/](http://www.iyc2011.jp/)

国連が2011年に取り組む8つの優先課題  
P2-3

寄稿：一票に託された願い ～スーダン  
住民投票監視団に参加して～ P6

国際女性の日2011を記念する  
「国連公開シンポジウム」を開催 P7

DPRKの人権状況に関する特別報告者、  
訪日調査を実施 P4-5

安保理リサーチの必須アイテム、  
レパトワールをご存知ですか P7

国際ユース年：若者の課題を開発目標に  
組み込む P8